

日本航空株式会社

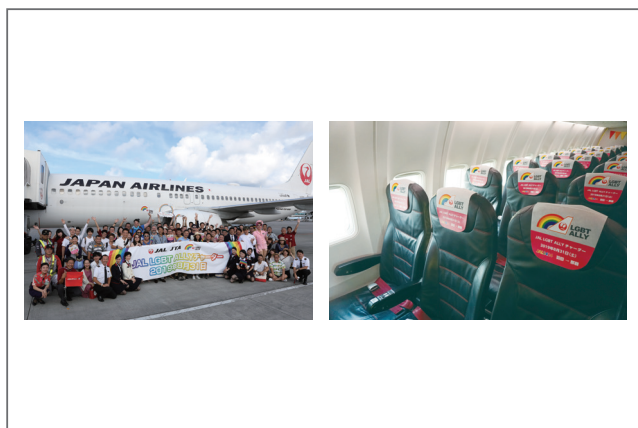


JAPAN AIRLINES



PHOTOGRAPHY BY SACHIE ABIKO

JALは「社会課題を解決し、サステナブルな人流・商流・物流を創出する」というESG戦略のもと、社員の誰もが安心して活躍できるダイバーシティ経営を実践するリーディングカンパニーを目指しています。その一環として、「同性パートナー登録制度」や「自認する性に基づく通称名の使用」を開始する等、社内の職場環境を整えてきました。また、性的指向や性自認に関する社内研修やLGBTQに関する理解促進イベントへの参加を通して、社会全体の理解促進に向けた取り組みを続けています。



社会全体での理解促進のため2019年8月に沖縄で開催された「ピンクドット沖縄」に合わせて、「JAL LGBTQ ALLYチャーター」を日本で初めて運航しました。また、2020年10月に空港や機内の英語のアナウンスにおいて、性別を前提とした敬称として使用していた「ladies and gentlemen」という文言を、ジェンダーニュートラルな表現に変更しました。アナウンスを変更することの是非ではなく、気づきとなり、さらに理解が進むことを期待しています。



各地で開催されるレインボープライドへ積極的に参加をしています。イベントの運営にあたっては、各空港・支社の社員を始め、毎回たくさんの有志のボランティアが参加をしています。社内研修だけでなく、イベントに参加をすることで、JALグループ社員にとっても更なるダイバーシティの理解促進につながり、社内のALLYが増える機会となっています。「PRIDE指標」で2022年は7年連続最上位「ゴールド」を、またチャーター便の運航などでは特別賞である「ベストプラクティス」も受賞しています。



JALマイレージバンクでは、マイレージカード新規発行時の敬称として、「MR」「MS」など、性別に関する表記をしないこととしております。

みんなでためる!みんなでつかう!
JALマイレージバンクでは、パートナーシップ証明書の提出で同性パートナーの方の家族/配偶者登録を行っています。ご家族それぞれがためたマイルを、特典交換の際に合算し、登録した会員が全員で利用できる「JALカード家族プログラム」をご用意しています。特典交換が身近になり、ご家族皆さまの楽しみが広がります。

※JMBカード会員限定のサービスです(登録手数料：無料)。
※登録資格など各種条件があります。